

「定着」で学力の飛躍的向上を

－「音読」、「書き取り」、「問題練習」の徹底がポイント－

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：成績を飛躍的に向上させるにはどうしたらよいのですか。

A：(林明夫：以下省略)まずは、学習した内容を「うん、なるほど」と「理解」することが大切です。「うん、なるほど」と「理解」をするためには、姿勢を正し、両手を机の上に置いて先生の目を見ながら、学校や開倫塾の先生の授業を真剣に聴くことが大切です。

「欠席」、「遅刻」、「早退」、「忘れ物」、「おしゃべり」、「ケータイ」をしたり、「他のことを考えている」と、「理解」は妨げられます。「トイレ」を我慢していても「理解」は妨げられますから、我慢せずに先生の許可を得てトイレに行ってください。

Q：わかりました。まずは「うん、なるほど」と「理解」することですね。「理解」するだけで、成績は飛躍的に向上するのですか。

A：「理解」するだけでも少しは向上するでしょうが、「飛躍的」に向上することは余りないように思います。

Q：では、どうしたらよいのですか。

A：「うん、なるほど」と一度「理解」した内容を確実に身に付ける、つまり「定着」させることです。学校や開倫塾の授業時間は限られていますので、先生は皆さんに学習すべき内容を「うん、なるほど」と「理解」してもらうのに大半の時間を使ってしまい、「理解」した内容すべてを「定着」させる時間を取ることは難しいと思われます。

授業中だけではすべての内容の「定着」までできないことが多いので、自分の力でやる以外に方法はありません。

Q：自分の力でやる方法を教えてください。

A：できればその日のうちに1回は、教科書や問題集、ノートを机の上に出して、学校や開倫塾の授業で学習した内容を「声に出して読む」、つまり「音読」することをお勧めします。英語や国語、社会はもちろん、理科や数学も、その日の授業を思い出しながら教科書や問題集、ノートをゆっくり大きな声で「音読」しましょう。できれば、何回も何回も大きな声で「音読」しましょう。

小学生や中学生、高校生の年代は、人生の中でも記憶力が抜群によい年代ですので、大きな声を出し何回も「音読」しているうちに、一度「うん、なるほど」と「理解」した内容を何も見ずにスラスラ言えるようになります。

さらに言えば、何も見ずにスラスラ言えるようになるまで大きな声を出して「音読」すること、これが「定着」の第一歩です。

Q：「音読」をして何も見ずにスラスラ言えるようになったら、次はどうしたらよいのですか。

A：「定着」のために次にすべきことは、「書き取り練習」です。「書き取り練習」ですから、字を崩さないで正確に書く練習を、書けるようになるまで徹底的にしてください。

すべての教科で、教科書に出ている語句は一語残らず、字を崩さずにきちんと正確に書けるまで「書き取り練習」をしてください。「書き取り練習」中も、書いている語句を大きな声に出して「音読」すると、学習効果は高まります。

「漢字の点画を崩さずきちんと書く書き方」を「楷書」と言います。漢字は、「楷書」で正確に書けるまで「書き取り練習」をしましょう。

英語は、語句がブロック体または筆記体で正確に書けるように何十回、何百回もスペリングの「書き取り練習」をしましょう。「書き取り練習」をしない限り、正確に覚えられません。

Q：「音読」と「書き取り練習」が済んだあとは、何をしたらよいのですか。

A：計算練習をはじめとする「問題練習」をすればよいのです。一度学んだ学校の教科書や開倫塾の教材の中にある問題を、最低3回、できれば5～10回やり直してみることにしてください。問題を見た瞬間に条件反射で正解が出せるまでにすることです。

余力のある人は、開倫塾の教材に出ているすべての問題を解いてみることにしてください。開倫塾の教材は、すべてやりきれば偏差値70以上まで達成できるように工夫されています。ですから、余力のある人はすべてやり終えてください。

Q：最後に一言どうぞ。

A：一度「うん、なるほど」と「理解」した内容を、自分の力で「練習、練習、また練習」することだけが成績を確実に飛躍的に向上させる方法です。

受験生も受験学年ではない塾生もこれを本気でやってみてください。成績は必ず飛躍的に向上します。

以上